



# 会津果樹旬報 4月号

果樹の生育が3日程度早まっています。  
防霜対策・各種病害虫対策を！



令和6年4月5日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

## 1 気象概況

会津若松市の令和6年3月の平均気温は2.8℃（平年比±0.0℃）で、平年並みで推移しました（図1）。

東北地方の1か月予報（4/1～4/30）によれば、東北地方では向こう1か月の気温が高い確率が70%と予報されており、**平年に比べ気温が高く推移するとみられます。**

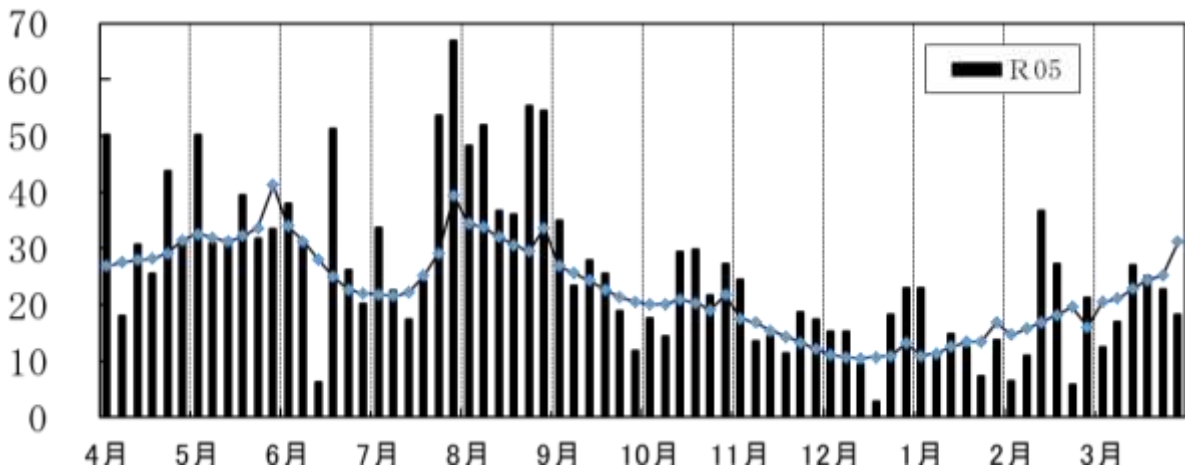
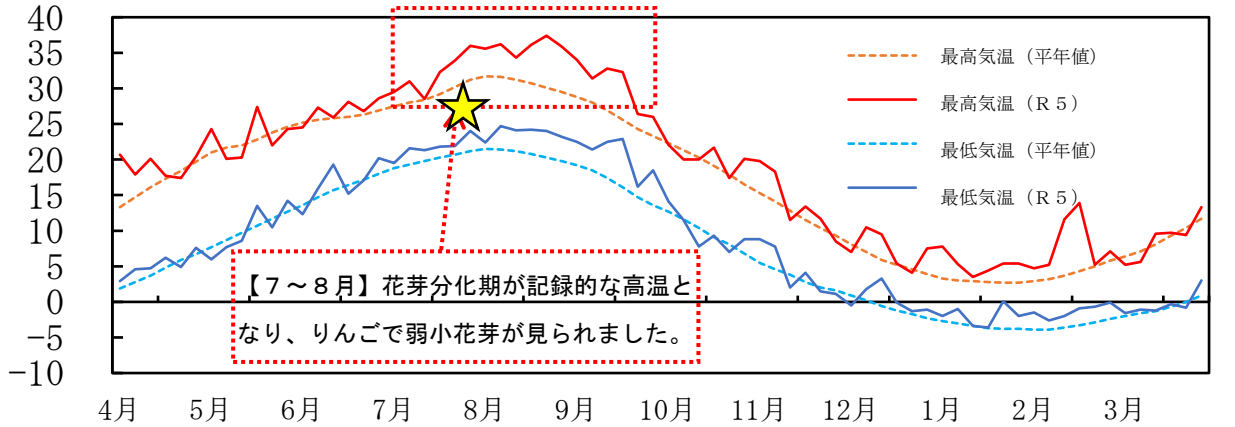


図1 気象推移

## 2 発育状況（4/3現在、会津若松市）

3月下旬の気温がやや高く推移し、今年のリんご（ふじ）の発芽日は3/31で、平年より2日早まりました。もも（あかつき）では発芽日が平年より3日早まり、おうとう（佐藤錦）では発芽日が平年より1日遅くなりました。かき（会津身不知）は4/7と予想されています（表1）。各樹種の4/3現在の生育状況は図2～5のとおりです。

東北地方では向こう1か月の気温が高いことが予報されております。防霜対策の準備、各種病虫害対策が遅れないように注意しましょう。

表1 各樹種の発育状況（平年は1986～2023年の平均値）

樹種		りんご	もも	おうとう	かき
品種		ふじ	あかつき	佐藤錦	会津身不知
調査地点		北会津町	神指町	北会津町	門田町
発芽日	本年	3/31(-2)	3/25(-3)	4/2(+1)	(4/7)
	昨年	3/24	3/21	3/31	4/2
	平年	4/2	3/28	4/1	4/9
開花日	本年	未	未	未	未
	昨年	4/19	4/5	4/6	5/29
	平年	4/30	4/20	4/22	6/4
満開日	本年	未	未	未	未
	昨年	4/23	4/11	4/12	6/1
	平年	5/5	4/25	4/27	6/8



図2 りんご・ふじ（発芽期）



図3 もも・あかつき（発芽期）



図4 おうとう・佐藤錦（発芽期）



図5 かき・会津身不知（未発芽）

## 3 防霜対策

### （1）事前準備

耐凍性は生育が進むにつれて低下し、開花期から幼果期にかけて最も弱くなります（表2）。温度計が正しく作動しているか確認しておきましょう。また、気象情報に十分注意し、防霜資材の準備を徹底しましょう。

表2 生育ステージ別の凍霜害を受ける温度（単位：℃）

樹種	品種	発芽期	開花直前	満開期
りんご	ふじ	-2.1	-2.0	-1.5
もも	あかつき	-2.5	-2.5	-2.5
おうとう	佐藤錦	-3.0	-1.7	-1.7

## 注意！

天気予報（週間予報）を毎日チェックし、降霜が予想されたら対策を早めに実施しましょう！

また、他の樹種の生育ステージ別安全限界温度や、具体的な対策方法については、農業振興課ホームページの技術資料を参照してください。

「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（令和6年3月7日）」

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/620212.pdf>

## （2）事後対策

- ・凍霜害を受け、めしべの褐変や芽枯れが見られた場合は、すぐに市またはJAへ連絡してください。
- ・アウトウやリンゴでは、被害の状況を十分確認し、被害程度が軽い花に対して重点的に人工授粉を徹底してください。

## 4 各種病害虫対策

### （1）もも

#### ア モモせん孔細菌病

例年、春型枝病斑は4月中旬頃から結果枝に見られ始めます（図6）。春型枝病斑は数本/樹でも放置していたら収穫期には大発生し、減収につながります。徹底的に防除するために、各ほ場で5月上旬頃に「春型枝病斑せん除日」を設け、発生を見つけたら可能な限り基部まで切り戻しましょう。

病害虫は初発抑制が重要！



図6 モモせん孔細菌病の春型枝病斑

### （2）カキ

#### ア フジコナカイガラムシ

管内全域で、平年と比べて発生が多く見られています。発生園では、5月上旬にオルトラン水和剤を散布してください。散布ムラが生じないように、SSはゆっくり走行しましょう。

※7月以降、成虫まで成長すると、薬剤による防除が難しくなるため、5月に必ず防除しましょう。



図7 フジコナカイガラムシ

### (3) ブドウ

#### ア ブドウトラカミキリ

昨年秋期、山林に設置した園地で発生が見られました。令和6年度会津地方防除暦を参考に、発芽前にトラサイドA乳剤(200倍)を散布してください。

※今年のブドウ(シャインマスカット・露地)の発芽は、4/20頃だと思われます。

### (4) リンゴ

#### ア リンゴ腐らん病

例年と比べて発生が多く見られています。こまめに園地を周り伝染源となる枝腐らん・胴腐らんの発病部位を見つけたら、削り取り、塗布剤を塗りましょう。なお、削り取った病患部は放置せず、園外に持ち出して処分してください。

#### イ リンゴハダニ(図8)

今後、気温が高く推移すると、4月末頃の発生が予想されます。落花後以降の発生密度に注意し、1葉当たり雌成虫1頭以上に達したら殺ダニ剤を使用しましょう。

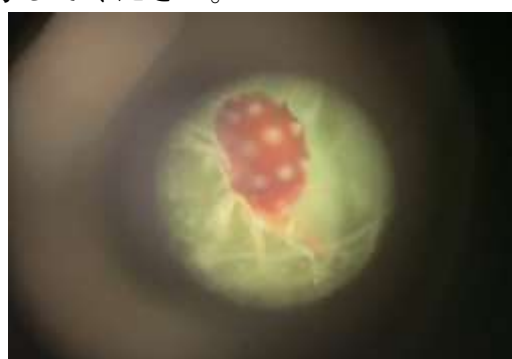


図8 リンゴハダニ

## 5 その他

### (1) せん定時の留意点

せん定が遅れている園地は、開花するまでに済ませましょう。

### (2) 野そ(ネズミ) 駆除

春は気温が高くなり、ネズミの活動が活発になるため、防除適期です。

毎年、野そによる根の食害が見られる園地では、4月中に殺そ剤を使用してください。また、殺そ剤は年1回では効果が不十分となるため、春と秋の2回に使用しましょう。



---

### ○春の農作業安全運動(令和6年3月1日~5月31日)実施中!

農繁期の4~5月は農作業事故が発生しやすい時期です。特に摘らい・摘花時の落下防止に気をつけましょう!!

令和6年度春のテーマ

#### 「学ぼう!正しい安全知識~機械作業の安全対策と熱中症の予防策~」

○近年、農業災害が多発しています。農業保険(農業共済・収入保険)に加入しましょう!

○農薬を使用する際は、必ず最新の登録情報(使用時期、使用回数など)を確認し、適正使用を心掛けましょう。

---